

2026年2月作品 百人一首替え歌(59-65)

青野正宏

会社が倒産しそうで気になり夜も寝られないよ
やすらかに 寝れず心配 日は過ぎて
傾くまでの 会社見しかな

59 やすらほで 寝なましものをさ夜ふけて
傾くまでの 月を見しかな



応援してもらっているけれど
まだヒットが全然でないよ
応えんも ヒットの道も遠ければ

まだ踏みもせず 一塁ベース
60 大江山 いく野の道の遠ければ
まだふみもみず 天の橋立



だれだ ここまで匂うぞ 臭いなあ
意に添わず 鳴らすおならのやばいおと
けふここまでも にほひぬるかな

61 いにしへの 奈良の都の八重桜
けふ九重に にほひぬるかな



くそ あの話サギだったのか 儲かると
おもっていたのになあ 絶対に許さないぞ
ワナこめて 儲け話ははかるとも
詐欺とわかればこれを許さじ

62 よをこめて鳥の空音 (そらね) は謀 (はか) るとも
よに逢坂 (あふさか) の 関は許さじ



あ あれは試供品だ タダなら貰わなきゃ損々
今はタダ 思ひ込んだら 試供品
人づてならで 聞くよしもがな

63 今はただ思ひ絶えなむ とばかりを
人づてならで 言ふよしもがな



無理しちゃためだよ 体壊すと元も子もないぞ

朝練で やり過ぎ息も 絶え絶えに

あらわれたるは 無理のおどろき

64 朝ぼらけ 宇治の川霧 絶え絶えに

あらはれわたる 瀬々の網代木



失敗をお詫びします どうかこれまで通り働かさせてください・・・

結局、閑職においやられたか

ミスをお詫び 干されぬように 言うものの

席で朽ちなむ 地位は惜しけれ

65 恨みわび ほさぬ袖だにあるものを

恋に朽ちなむ 名こそ惜しけれ

